

山陽東小学校学校支援地域本部のコンセプト

1. コンセプト

「子育て支援を通じたコミュニティづくり」

2. 本事業に係る背景

桜が丘地区（岡山ネオポリス）は、30年前に造成され、現在人口15,000人、高齢化率16%程度で、毎年300人程度人口が増えている地域である。核家族化が進行しているとともに、新興団地に加えて、合併前は行政区分が分かれていたこともあり、地域コミュニティを形成し、住民同士が互いに助け合う関係が十分にできていない。このようななか、今後高齢化が進行すると、先行する他の団地がたどったのと同じように、地域が疲弊し、孤独死が頻発し、子育てもしにくく、地域住民が安心・安全でいきがいを持てるまちにならない。

地域住民が安心・安全でいきがいを持てるまちづくりをしていくには、住民が未来を担う子ども達の支援をし、学校を中心とする住民同士のコミュニティづくりをすることが一つの重要な施策になってくる。

また、学校教育においては、教職員の業務量の増加が問題となっており、子ども一人一人に対するきめ細やかな指導という本来の職務への影響が懸念されている。

これらの住民側・学校側の課題を解決するため、地域と教職員、地域と子ども、地域住民同士が互いに日々の生活の中で触れ合う機会をつくり、学校と地域社会の連帯感を高め、地域のコミュニティづくりを目的とし、山陽東小学校学校支援地域本部を設置する。

尚、将来的には、桜が丘中学校・桜が丘小学校・山陽北小学校も含めた4校を一緒に地域住民が支援する桜が丘地区学校支援地域本部を目指すものである。

3. 学校支援地域本部の目的

- ① 未来を担う子ども達の支援をし、学校を中心とする住民同士のコミュニティづくり
- ② 地域全体で学校教育を支援する体制づくり
- ③ 教師が子どもとしっかり向き合う時間の確保